

令和2年11月

大野市教育委員会定例会
会議録

日 時：令和2年11月30日（月）午後3時30分～午後4時50分
場 所：大野市役所 大会議室

大野市教育委員会 11月定例会 次第

令和2年11月30日(月)午後3時30分～
大野市役所 大会議室

1 開会

会議録署名人 馬道委員 松田委員

2 10月定例教育委員会、11月臨時教育委員会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

議案第55号 大野市立学校管理規則の一部を改正する規則案

議案第56号 大野市教諭等の標準的な職務の内容及びその例並びに教諭等の職務の遂行に関する要綱案

議案第57号 大野市学校事務職員の標準的な職務の内容及びその例並びに事務職員の職務の遂行に関する要綱案

議案第58号 指定管理者の指定について

議案第59号 令和2年12月大野市議会定例会提出議案(補正予算案)について

議案第60号 令和3年度教職員人事異動方針について

5 付議事項

1) 小中学校再編計画検討委員会の報告について

資料1

2) 12月の行事予定について

資料2

・12月定例教育委員会 12月22日(火)午後3時30分～ 大会議室

3) 大野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例について

資料6

6 その他

1) 大野市和泉地域交流センター設置条例の制定について

資料3

2) 小中学校における冬季休業の変更について

資料4

3) 11月の業務報告について

資料5

4) その他

7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員（教育長職務代理者）	馬道保
	委員	松谷由美
	委員	松田輝治
	委員	羽生たまき
事務局（説明者）	事務局長	清水啓司
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
	生涯学習課長	横井一博
	生涯学習課スポーツ振興室長	多田直人
	文化財課長	佐々木伸治
（書記）	教育総務課企画主査	竹田雄次

<傍聴者>

2人

【開会】

【教育長】ただいまから大野市教育委員会11月定例会を開会する。本日は2人の傍聴を許可したので報告する。

——<大野市教育理念の唱和>——

【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、馬道委員、松田委員にお願いします。

【10月定例教育委員会、11月臨時教育委員会会議録の承認について】

【教育長】事前にお送りした会議録案について、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】提案どおり承認する。

【教育長重要事項報告】

【教育長】「魅力ある学校づくり」について申し上げる。

本年度と来年度、大野市では「魅力ある学校づくり調査研究事業」を国立教育政策研究所の指定を受けて取り組んでいる。この事業の目的は、不登校防止対策である。児童生徒が嬉々として通い、保護者が安心して通わせられる学校づくりを行うことにより、この大野市から不登校の子どもをゼロにしたいと強く決意している。その具体的な状況について、2学期に行ってきた学校訪問の状況から報告する。

本年度は陽明中学校区を中心に取り組んでおり、来年度は大野市全体に広げることとしている。陽明中学校区は、「主体性づくり」をテーマに共通理解を図っている。下庄小学校は、フリートークによる授業や行事に取り組んでいる。有終東小学校では、長期休業の課題や日々の宿題を自分で計画できるよう支援

している。乾側小学校では、小規模校の特長を生かした全校学びの取り組みが進んでいる。陽明中学校は、それらの取り組みを、どう中学校で継続させるかの視点から、小中学校の共通理解を進めている。

来年度と言わず、これらの取り組みは陽明中学校区のみならず他の校区でも進められている。2、3例を挙げる。有終南小学校では、自尊感情を基礎的な面と社会的な面の2種類に整理して取り組んでいる。その結果、欠席者なしの日があり、欠席者も1、2名の日がほとんどである。開成中学校も大変落ち着いており、今年の1年生には不登校の生徒がいない。ここでも、小学校と中学校の指導観が共有され、成果が出ている可能性を強く感じる。

さらに、小規模校の阪谷小学校と小山小学校ではタブレットを有効に活用した授業が積極的に展開されている。複式学級同士をオンラインでつないだ授業づくりの研究も進んでいる。

このように、大野市を挙げて「魅力ある学校づくり」という共通目標の下、陽明中学校区はもちろんであるが、市内全校が意識を高く取り組んでいる。3学期は次年度への準備期間である。本年度の成果と課題を検証し、初期の目的を達成したい。ご支援をよろしく願います。

【議事】

【教育長】議案第55号 大野市立学校管理規則の一部を改正する規則案、議案第56号 大野市教諭等の標準的な職務の内容及びその例並びに教諭等の職務の遂行に関する要綱案、議案第57号 大野市学校事務職員の標準的な職務の内容及びその例並びに事務職員の職務の遂行に関する要綱案は、関連する議案であるため、一括して事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【羽生委員】助教諭という言葉を見ると、臨時の教員免許を持つ者となっているが、どういう立場で、どのような場合に学校に配置されるのか。

【審議監】どうしても教諭が足りない場合に、臨時の教員免許を与えて配置する。現在、市内の小中学校には助教諭を配置していないが、配置する可能性があることから要綱に記載している。

【馬道委員】部活動に関することは、教諭等の職務に位置づけられているのか。

【審議監】この要綱を制定する目的は、教諭等の業務改善であり、教諭等が本来担うべき職務を明確にすることである。部活動については、現在、地域型に移行する議論が進められており、教諭等の本来の職務とは違うのではないかとい

う理由から、この要綱には記載していない。登下校時の状況確認などについても、現在は教諭等が担っている部分があるが、本来は違うのではないかという理由で、この要綱には記載していない。

【馬道委員】教員がこの要綱を見ると、部活動の指導はやらなくてもいいのだと思ってしまうのではないか。

【審議監】校長会を通じて、規則や要綱の趣旨を説明し、今すぐに部活動を地域型に移行することはできないので、その点に関しては教員に担当してもらうということを依頼しながら、徐々にこのような形になるよう進めていく。

【馬道委員】議案第57号の別表第2の学校運営協議会とは、現在の家庭地域学校運営協議会のことを指しているのか。また、地域学校協働本部という文言が使われているが、この組織は大野市に設置されているのか。

【審議監】現在の家庭地域学校運営協議会を、学校運営協議会に移行していく予定である。地域学校協働本部は、今後設置する予定である。事務職員の職務が多いように見えるが、別表第2については事務職員が積極的に参画する職務であり、事務職員の本務ではない。

【松谷委員】議案第57号の別表第2に、教育活動におけるICTの活用支援とあるが、教諭は専門のことをきちんと教えられるという心の余裕があってこそ授業だと思うので、事務職員との職務の分け方を明確にするといいと思う。

【審議監】そのとおりである。事務職員は、教諭からの聞き取りを基に、ICT関係の必要な物品などを準備・購入するといった業務を行うので、とても大切なことだと思う。

【教育長】議案第55号、第56号、第57号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第55号から第57号については、提案どおり承認する。

議案第58号 指定管理者の指定について、事務局の説明をお願いします。

——<スポーツ振興室長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第58号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第58号については、提案どおり承認する。

議案第59号 令和2年12月大野市議会定例会提出議案（補正予算案）について、事務局の説明をお願いします。

——<事務局長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【馬道委員】債務負担行為として給食調理業務委託が計上されている。小山小学校や阪谷小学校では、自校で米飯を炊いたりおかずを作ったりしているが、この給食調理業務を外部の業者に委託するということか。

【事務局長】大野市の小中学校は、全て自校給食を実施しているが、中学校については市の職員である給食調理員が調理しており、小学校と和泉小中学校については委託業者の給食調理員が調理している。いずれもそれぞれの学校で調理する自校給食であるが、業務形態に違いがある。

【教育長】議案第59号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。
——<異議なし>——

【教育長】議案第59号については、提案どおり承認する。

議案第60号 令和3年度教職員人事異動方針について、事務局の説明をお願いします。

——<審議監説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松田委員】教員を新採用する際に、性別のバランスに関する配慮はあるのか。

【審議監】教員の採用は県教育委員会が行っており、そのような配慮がされているのかは把握していないが、現在の配置状況を見ると、小学校では女性の教員が多く、中学校では男性の教員が多く配置されているように思う。

【松田委員】採用試験の成績と面接時の人柄で男女の区別なく採用しているが、偏る場合もあるということか。

【審議監】採用試験を受ける男女の比率によっても変わると思う。現在は、人物重視で採用試験を実施していると聞いている。

【教育長】高校入試についても男女枠は外れており、教員の採用についても男性で何人、女性で何人という採用人数が決まっているということはない。

議案第60号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第60号については、提案どおり承認する。

【付議事項】

【教育長】付議事項1) 小中学校再編計画検討委員会の報告について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】小中学校再編計画検討委員会の報告については、以上とする。

付議事項2) 12月の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

——<各課室長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】12月の行事予定については、以上とする。

大野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】本件については、市長から提出された条例案に同意することとしてよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】大野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例案については、同意と決する。

【その他】

【教育長】その他1) 大野市和泉地域交流センター設置条例の制定について、事務局の説明をお願いします。

——<生涯学習課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】大野市和泉地域交流センター設置条例の制定については、以上とする。

その他2) 小中学校における冬季休業の変更について、事務局の説明をお願いします。

——<審議監説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】小中学校における冬季休業の変更については、以上とする。

11月の業務報告について、ご意見、ご質問等があればお願いします。

【羽生委員】リモートマラソンについて、トラブルなどはなかったか。手ごたえはどうだったか。コロナ禍が収まらない中で一つの目安になる取り組みだったと思う。

私もふれあい駅伝に参加し、スタート地点で子どもたちに、どんな気持ちかを聞いたところ、「どきどきとわくわく」という答えが返ってきた。色々なことが100パーセントは実施できない中で、縮小しても大人に混じって参加することで、「わくわく」という言葉が聞けたことがとても嬉しかった。今後も色々なことがあると思うが、少しでもこのような機会を設けてもらいたい。

【スポーツ振興室長】 リモートマラソンについては、参加者のアプリの誤操作により記録が登録されなかったという事案が1件あったが、他にトラブルや苦情はなかった。定員の7割の参加があり、開催してよかったと思う。

【教育長】 リモートマラソンを実施したのは、県内では大野市だけか。

【スポーツ振興室長】 今年度は大野市だけである。

【教育長】 縮小したり我慢したりしなければならないことがあっても、基本的には続けようという方針で取り組んでいるということである。

その他何かあればお願いします。

【生涯学習課長】 前回の定例会で松田委員から質問のあった、ブックスタートでは保護者が希望する本をお渡しできるのかということについてお答えする。ブックスタートでお渡しする本は、優良図書ということで比較的安価に購入しており、メニューが決まっているため、メニュー外の本をお渡しすることはできない。メニューにある本をほとんど持っているという場合には、別の本を選んでいただくことも考えているが、これまでにそのようなケースはない。

【馬道委員】 12月に実施する大野市学力調査について、調査結果を公表する予定はあるのか。

【審議監】 大野市学力調査は、それぞれの学校で学習支援や授業改善に役立てるために実施するものである。調査結果そのものを公表する予定はないが、調査結果がどのように学習支援や授業改善に活かされたかについては、公表を検討する余地がある。我々も調査結果をしっかりと分析し、来年度の授業改善、魅力ある学校づくりに役立てていきたい。

【馬道委員】 補正予算案で教職員用トイレの洋式化の経費が計上されていたが、全国的に児童生徒用トイレの洋式化率は50パーセント程度であり、最近の児童生徒は和式トイレに慣れていないため、全て洋式化した方がよいという意見があるという記事を読んだ。児童生徒用トイレの洋式化を行う予定はあるのか。

【教育総務課長】 これまでに、児童生徒用、体育館、給食室と、それぞれのトイレごとに、全てではないが、1カ所ずつは洋式化を行ってきた。今回は未着手となっていた教職員用トイレのうち、全て和式となっているトイレについて、1カ所ずつの洋式化を行うものである。今回の洋式化により、学校の全てのトイレで、少なくとも1カ所ずつは洋式トイレが設置されることになる。

【事務局長】 市としては、和式でなければ使えないという方もいるので、全ての

トイレを洋式化する考えはなく、トイレごとに少なくとも1カ所は洋式トイレを設置するという方針である。児童生徒については、馬道委員がおっしゃったように、幼いころから洋式トイレを使ってきた子どもが多いと思うが、当面はこの方針を進め、学校再編が一段落した時点で、学校に残っている和式トイレについて考えたいと思う。

【羽生委員】教育委員会の会議で配られる資料を見ていると、2023年に学校の部活動を段階的に地域型に移行していくことや、2022年に5、6年生を対象とした教科担任制の導入などが検討されていることが分かるが、こういった情報は保護者にどの程度周知されているのか。また、部活動について、大野市として、地域型に移行するための試験的な取り組みを行っているのであれば聞かせてもらいたい。

【審議監】小学校の教科担任制の導入については、以前は、小学校に配置される教員で英語の免許を持っている教員はあまりいなかったが、現在は、英語が教科になったため、1学年複数の学級がある学校には、必ず英語の免許を持つ教員が配置されるようになった。1学年1学級の学校にも、できる限りそのような配置がされている。理科も専門的な知識が必要になってきたので、小学校に理科の免許を持つ教員が計画的に配置されるようになった。本来であれば、教育委員会が保護者に周知していかなければいけないことだが、実際は学校によって違いがあるため、学校だより等で保護者に周知するよう依頼している。

部活動の地域型移行については、まだ受け皿ができていないため、試験的な取り組みは行っていない。現在は、サッカーや野球の地域クラブに参加していれば、学校の部活動には参加しなくてもよいというところから始めており、少しずつ教員の手を離れる形にしていきたいと考えている。また、総合型地域スポーツクラブである「みんスポクラブ」との連携ができないかということも考えている。

【羽生委員】学校再編検討委員会を傍聴する中で、再編検討委員会の委員の皆様と、保護者や住民の皆様が持っている情報に大きなギャップがあると感じた。例えば、再編検討委員会の委員が行った独自アンケートでは、複式学級について、「存在すら知らない」「メリット、デメリットが分からない」「学校再編の論点になっていることを知らない」といった意見があり、正しい情報の周知と理解に格差ができていたと思った。

小学校の教科担任制については、学校の規模によって配置される教員の数が異なるので、学校再編の方法によっては、学校間で格差が出てくると思う。部活動については、学校再編への期待として、部活動の選択肢が増えるということがあると思う。教科担任制の導入や部活動の地域型への移行といったことを保護者の皆さんが理解した上で、学校再編に向き合ってもらいたいと思う。

ので、よろしく願います。

【閉会】

【教育長】 これをもって、大野市教育委員会 11 月定例会を閉会する。

午後 4 時 50 分終了

令和 2 年 12 月 22 日

(馬道委員)

(松田委員)